

平成19年度第1回小牧市行政改革推進委員会会議録

1 開催日時

平成19年6月27日(水)

14時00分から16時00分

場所 小牧市役所本庁舎4階 第4会議室

2 出席者

(推進委員会委員)

稲垣 孝子会長、住田 邦久委員、森 勝昭委員、稲垣 喜久治委員

末松 雅彦委員、肥田野 良政委員、萩原 聡央委員

行政改革対策委員会委員、事務局

3 議題

1) 第3次小牧市行政改革の実施状況について

2) 第4次小牧市行政改革推進計画書について

4 会議資料

資料1 第3次小牧市行政改革の実施状況

資料2 第4次小牧市行政改革推進計画書

資料3 第3次行政改革推進計画書の達成状況及び第4次推進計画書への
継続項目

5 会議経過

会議要旨については別添のとおり

平成19年度第1回小牧市行政改革推進委員会会議録要旨

事務局

本日は、大変お忙しい中、小牧市行政改革推進委員会にご出席賜りましてありがとうございます。

ただ今から、平成19年度第1回小牧市行政改革推進委員会を開催させていただきます。

本日の会議につきましては、次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、稲垣会長よりごあいさつをいただきます。

稲垣会長

こんにちは。本日は、大変暑いなかご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度は、「第4次小牧市行政改革大綱」について皆様と協議をし、提言することができ、第4次小牧市行政改革大綱の策定につながりました。ありがとうございました。

今年度からは、第4次の大綱に基づく「第4次小牧市行政改革推進計画書」について、委員の皆様と検証していきたいと思えます。

国においては、これまで行政が担ってきた分野について、民間開放を進めておりますが、この第4次の計画においても、民間推進に関する計画もあります。

行政が行うべきこと、市民も含めて民間ができることを考えそれぞれの役割に応じた行政改革の推進について考えていきたいと思えます。

市民を代表してご出席いただいております委員の皆様には、積極的なご意見をいただくことをお願い申し上げてあいさつとさせていただきます。

事務局

ありがとうございました。

議事に入ります前に、委員の異動がありましたので報告いたします。恐れ入りますが、お手元に配付させていただきました小牧市行政改革推進委員会名簿をご覧ください。

区長会からご選出いただいていた小島様に代わり、区長会代表の新委員としてご就任いただきました 稲垣 喜久治 様 でございます。

よろしく願いいたします。

なお、昨年度市民代表の1人としてお願いしておりました山本漢雄様におかれましては、委員辞退の申し出があり、委員を退かれましたのでご報

告いたします。

また、連合愛知尾張中地域協議会の岡田 様、フレクストロニクス愛知の金子 様につきましては、欠席の連絡をいただいています。

今年度は、人事異動により行政側のメンバーが大幅に変わりました。お手元に小牧市行政改革対策委員会名簿を配付させていただいております。委員の紹介については、この名簿をもってかえさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会議の進行につきましては、稲垣会長にお願いしたいと存じます。

会長、よろしくお願いいたします。

稲垣会長

本日の会議につきましては、事前に配付しました資料 1 , 2 について予定しております。

なお、会議の終了時間につきましては、午後 4 時を目標に進めてまいりたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。

それでは、議題の(1)第 3 次小牧市行政改革の実施状況についてと、議題(2)第 4 次小牧市行政改革推進計画書については、関連がありますので一括して事務局の説明を求めます。

事務局説明

資料 1 第 3 次小牧市行政改革の実施状況

資料 2 第 4 次小牧市行政改革推進計画書

資料 3 第 3 次行政改革推進計画書の達成状況及び第 4 次推進計画書への継続項目について説明。

稲垣会長

議題の 1 及び 2 について事務局より説明がありました。

説明のとおり、第 3 次行政改革推進計画のうち第 4 次行政改革推進計画に継続されたものもあります。委員の皆さんはすでにこの第 4 次の計画書を読まれたと思われるが、ご意見がありましたら発言をお願いします。

(住田委員)

第 4 次推進計画書では計 5 0 項目あるうち、新規項目は 2 6、継続項目は 2 4 ということをお聞きしました。5 年かかってやってきたものが、2 4 も継続というのは多すぎるのではないのでしょうか。前回から継続するという事になると、スピードが求められている時代に、1 0

年かかって課題を解決するというのはどうかと思う。

数値目標されているものが13項目しかないというのも問題だと思います。行政改革で一番大事なものは、数値目標を定め、いつまでにどれだけをやるのかを明示するのが重要でしょう。各項目においては抽象的な内容が多く、具体的なことがわかりづらいです。この理由として、数値目標が定められていないことが大きいと思います。5年のうちに完了できないからそうなるのではないですか。項目の中ではある程度数値化ができると思われるのですが、今後考えていっていただきたいと思います。

この推進計画について、どなたか外部の方、議会や監査の方等で各項目が完了したかどうかをチェックしているのかどうか、教えてください。

（企画部次長）

第3次からの継続が多いというご意見をいただきました。これから事業を進めていく中で、いったんは完了したとありながら、まだまだ今後も十分検討しつつ進めなくてはいけないというものについて、継続とさせていただいている状況であります。

数値目標について、確かにそれが事業達成の推進力となるのはおっしゃられるとおりであります。どうしても事業の性格等から難しいものがあります。その場合は、具体的な事項をご報告することになりますので、ご理解いただきたいと思います。

第3次推進計画各項目の完了確認について、外部から検証をいただくということは現在行っておりません。それぞれの部署において判断しているのが現状であります。

（住田委員）

数値化できない項目があるというのは十分理解しておりますが、それにしても（数値化していないものが）多いのではないかと感じました。可能な限り数値化を図っていただきたいと思います。

（末松委員）

住田委員からご質問がありましたが、継続項目について、一応取組んで軌道にのった、だから続けていくんだというのも継続に入っていると思いますし、何か障害があって完了できなかったから次の期間また継続としてやっていくというものもあるだろうと思います。

市民活動が重要になってきたということで、市内にある市民活動団体、ボランティア団体の数を調べましたら、357ありました。少し古いデータもありますので、現在はもっと多いと思います。その中で、かなり

の団体は、各地域で活動しているわけですが、各行政区の規約がそうした市民協働を踏まえた規約になっていないところが多いせいか、団体の活動に支障が出ています。(地域になじめない原因にもなっています)

区の規約で市民活動団体やボランティア団体との協働の規約がないと、委託なども検討できず、動きようがありません。助成金規定などもそうです。

市民協働を進めていくためには、各区の規約関係がどうなっているかを一度お調べ頂き、指導していただくことが必要です。区長をはじめ、役員が1年でごっそり替わってしまう地域も多く、そういった地域の実情を区長が短期間に把握したり、規約を変えたりするのは非常に困難なことです。

第4次行政改革推進計画の中に、市民協働に関する項目が13ありますが、これを進めるための障害を取り除く意味においても、行政からの指導、助言をお願いしたいのですが。

(市民部次長)

区長制度のあり方にも関わるお話と受け止めております。地域における自治については今まで行政主導でやってきましたが、これからは市民自らが考え、市と一体となってやっていく必要があると感じています。

地元の組織について、市が統一的に決定していくには難しい面もあります。しかし、協働という点から、今年度新しい地域自治制度のあり方について検討会を立ち上げ、市としての課題調査、先進市の視察、パネルディスカッション、研修を行いながら、協働によるまちづくりを考え、区長の担うべき役割等を考え、区長の位置づけ等を検討していきたいと考えております。

(末松委員)

ぜひそれをやってほしい。各区長は業務に追われ引き受け手がありません。1年でかわるところがほとんどです。そういう状況では何もできません。このため、現行体制の見直しについては是非とも速やかにお願いしたいところです。地域の方が地域でやっていけるためにも、実情をよく把握していただき、指導、助言をしていただきたいところです。現在は区によって自主性に大きな差がある状況です。

(稲垣喜久治委員)

お話のありましたとおり、区によってもかなり差があるのが現状です。地域を発展させようという熱意があるかないかによって、区の状況が大きく異なります。今、防犯等に積極的に取り組んでいる区長もいれば、1年

で交代だからと連絡程度の区長もいます。区長でも長期間継続してやられている方が多い地区は、地域自治等発展しており、我々とも連携がとりやすいといえます。しかし、やり手がおらず抽選や順番で区長を選出しているようなところでは、区長会で行政について説明しようとしてもなかなか理解が得られにくい状況です。

これからの課題として、小牧市の区長会でも区長が具体的にどういう役割を果たしていくのか、区長の位置づけを勉強している。

区長を1年で交代するというのも、地域の発展を考えると疑問が残るところです。

(末松委員)

衛生委員も区の役員同様に1年で替わってしまうようでは、環境課題も解決が進みません。

民生委員は、3年とか5年とかの任期が多いように聞きますが、そのように考えるべきではないでしょうか。

そういうことも含めて、地域でどうなっているのかをお調べいただきながら、ご指導いただきたいところです。

(肥田野委員)

第4次推進計画としてたくさん計画が挙げられていますが、この計画のすべてが行政改革といえるのでしょうか。私には通常業務といえるようなことが計画としてあがっているように思えます。

行政改革といえば、一般的には行政の体質改善であると捉えますが、よく言われる縦割り行政やら事務の効率化といった部分については、ここの中でどのような形で反映されているのかお聞かせいただきたいです。

昨日企画課の職員とお話する機会がありましたが、各協議会等について、行政の事務局業務のスリム化をはかっていくのはどうでしょう。事務局業務は進行表作成など大変な作業で、若手職員の方々が一生懸命取組まれているとお聞きします。しかし、それは本当に必要な業務なのでしょうか。いっそ事務局としてやるべきことを見直し、無駄を省くことも考えていただけたらと思いますが、そういった内容はこの計画の項目に入っていますか。

(企画部次長)

体質改善といわれると、職員の意識や勤務意欲等、様々なことがあげられると思われれます。これについてはこの計画の中で、たとえば人材育成の推進などが関連するといえます。従来は階層別に、管理職ならこの研修、

新人職員ならこの研修、といった形式でしたが、今では全職員を対象に、自分の希望により自由な研修を受けられる制度としてやっております。それにより、自ずと職員の意欲向上が図られるところではありますが、いかに研修項目を用意し、研修意欲を盛り上げていくことが今後の課題でもあります。そういった研修を行いながらも、体質改善は、職員1人1人がまず意識していくことが大変重要であると感じております。

事務局の果たす役割に無駄が多いのではというご指摘ですが、職員の定員管理の項目で考えていきたいと思っております。適正な職務の配置も考えられますし、組織改正の検討も考えられますが、委員のご提案も十分に受け止め、今後進めていきたいと考えています。

(肥田野委員)

是非進めていただきたいところです。(協議会)事務局の事務には無駄が多いと思っております。

(住田委員)

第4次推進計画 No.11 の学校評議員制の評議員選出についてお伺いします。小牧市ではないとは思いますが、他の自治体では、学校評議員に学校の意見が通るようなメンバーを選出していると聞いたことがあります。小牧市ではどのような選考で行われているのでしょうか。

(教育委員会学校教育担当次長)

学校評議員の選定につきましては、地域関係者、PTA、福祉関係者、学校後援会などから選んでおります。およそ各学校に10名以内でお願いしており、各学校それぞれが抱えている主題について議論をしています。評議員の方の中には各校区に含まれる企業の方もいらっしゃるのが現状です。

(肥田野委員)

参考までに、先日市民団体の皆さんとお話する中で面白い話がありました。行政の問題点の中で、席順が悪いのではないかという指摘があったのです。おおよそ、部長、課長職が一番奥に座り、若手が窓口側にいて、お客様とのお話で判断できない際は上司に相談する、といったところがよく見受けられます。若手職員はやることがたくさんあるのでそちらに専念していただき、相談できる決断できる職員が最初から窓口座るといえるのでしょうか。部長さん方が窓口座るということです。一つ参考までに申し上げておきます。

(末松委員)

第4次推進計画 No.28 について、小中学校へのISO14001 取得範囲拡大とありますが、全校で実施する予定ですか。

(環境部次長)

昨年25校が、学校版ISOは取得していただいております。これは生徒、先生がともに環境に対してISOの取組を行っている状況です。学校版ISOはマニュアル化まで、まだいたっておりませんが、それが可能かどうか、そして認証取得も可能かどうかを検討し、可能であれば実施していきたいという計画です。

(末松委員)

ISOは取得後も、ものすごく大変です。学校の先生の負担増につながりませんか。今先生の業務量は大変です。私は、学校版ISOの内容充実をはかってもらった方がいいと思います。学校の取組みに選択の幅をいれて、子どもたちが環境に優しい子となるような教育について検討してみてもどうでしょうか。学校の中だけでなく外で環境について考えることは大変いいことです。取り組み項目の拡大をして、子どもたちが社会の中で環境に取組んでいけるとすればそれは非常にいいと思います。ISO14001を目指すのはとても大変です。毎年定期的に更新とチェックがあり、先生方のますますの負担増は避けられません。

(環境部次長)

学校は学校としての取組として、どこまでのことをやれるのか、といった簡略化したマニュアルで、ISO14001 を認証取得できるのかどうか、先生方と協議を進めながらどこまで果たしてやれるのか検討していきたいと考えています。

(稲垣喜久治委員)

人材育成という点において、企業でも成長しているところは育成がうまくいっているところのようです。市役所についても活性化を図っていかうと考えた場合、若い人たちの力が活発に動いていけば、いろいろな問題がそこで出てくると思います。

役所は4月に異動がありますが、人材育成した人が適材適所にいくのか、それとも、その人を伸ばそうとするがためにそのポジションにつけるのか、いろいろ考えがあると思われれます。また、企業は大学と連携をとって、優

秀な人は聴講生として大学へ行くとかいうことがあるが、市役所はその点どういう風に育成しているのでしょうか。企業は各種講習会へ社員を派遣して育成することもあります。市はどうやって人材育成をしていますか。

（企画部次長）

人事異動で、異動してから育成させるとかという点についてですが、市の人事異動では、異動希望を各職員へ確認し、可能な限り本人の希望する部署に配置するよう検討しています。そのため人事異動では育成ということを最優先して捉えてはおりませんが、人材育成については、職員が外部の研修に参加することなどについては、積極的に推進しているところです。

（稲垣喜久治委員）

どういうところへどれくらいの期間研修に出しているのか教えていただきたいのですが。

（企画部次長）

例えば、自治大学校という職員の研修のための機関があり、研修期間は、3ヶ月、1ヶ月の場合などがあります。また、小牧市においても実際に希望する職員は大学へ聴講生として通う場合もあります。

現在、大学に関しては研修のみならず、近隣の大学と協働して事業を進めていくような点についても検討しているところです。

（稲垣喜久治委員）

若い人はそういうところで育成されていると思いますが、会社で言えば重役の部長クラスの自己啓発はどのようなことをやられているのか教えていただきたいです。市のトップクラスとして、市をどうきりまわしていくのか意識啓発、啓蒙はどうなっていますか。

厳しい行財政の中で、職員の人員削減は積極的に推進すべきです。以前病院では電算化を進めているが職員は一向に減らないとお聞きしました。そういった問題に対しては、やはり部長クラスの方の対応が重要なのではないのでしょうか。

（企画部長）

現在、市の人材育成基本方針で部長クラスに求められている能力は、経営管理能力、課長職は課題解決能力、主任主査には基礎的業務遂行能力が挙げられます。部長に就任いたしますと初任者ということで部長研修があります。その後は、それぞれ議会答弁での勉強、市民からの要求での勉強

等、それぞれ日常業務において勉強させていただくという形で現在やっております。

電算化について、私も同感の部分があります。IT化により当初の業務は効率化されても、新たな課題が出てきて対応する必要が生じ、結局職員が必要となることもあるのが現状です。IT化は基本的に省力化、正確性を図ることを目的に推進しておりますが、そればかりでないことも否めない事実といえます。

（稲垣喜久治委員）

人材育成でもう1つ。女性登用についてお伺いします。小牧市は女性の係長、管理職が非常に少ないと思います。市の人事査定がよくわかりませんが、なぜもっと女性を登用できないのか疑問に思います。

（企画部長）

現在手元に具体的な資料がないので、女性登用の具体的割合は申し上げられませんが、男女差別をしているということはまったくありません。先ほど申し上げましたように、求められる能力によって登用しております。

（肥田野委員）

質問ですが、職員の採用試験はどのような試験を行っていらっしゃるのですか。

（企画部次長）

採用試験は大卒、短大卒、高卒により分け、一次試験で教養試験と適正検査、保育士等の専門職はさらに専門試験を行い、二次試験ではグループ討論等、3次試験で面接・健康診断を行っております。

（肥田野委員）

景気がいいときは公務員になる人が少ないとはよく言われると思いますが、公務員も専門職であると私は思います。小牧をよくしたい、小牧が大好き、という人に職員になって欲しいです。そこで、今お話のあったグループ討論でそういったテーマを設けていただき、小牧をどうしたい、だから市役所で働きたいという人を採用してもいいのではないのでしょうか。

（萩原委員）

質問です。第4次推進計画 No.7 のアダプトプログラムとは何ですか。

(環境部次長)

アダプトプログラムとは、環境美化について市民意識の向上をはかるための取組です。具体的には、地域の方が地域で美化活動を行っていただく際、グループ登録をしていただければ、市で清掃に必要な手袋やほうきをお渡しするといった制度です。実際には近所の道路や公園などを清掃してもらっています。地域の方が(道路等の)里親となり、自分たちの地域の掃除をしていただくというものです。

(萩原委員)

ありがとうございます。

先ほど企画部長が言われた部長職に求められる経営的能力とは具体的にどのようなものでしょうか。

(企画部長)

基本的に、経営者意識、決断力、組織管理力だろうと思います。その中で部の目標として行政改革の推進を図っていき、組織の管理を行うことと認識しております。

(萩原委員)

経営といいますが、利潤追求意識といったものとは関係ありますか。

(企画部長)

直接利潤追求にはなりません。経営的なセンス・能力は、費用対効果や長期的な財政負担を視野にいれて考えていくことになるかと思います。全く直接つながっていることではないです。

(萩原委員)

企業と行政との違いを教えていただきたかったため今の質問をしました。経営という概念は、行政にそのまま組み入れられるのでしょうか。第4次推進計画のNo.15に官民役割分担の明確化とあります。

今後、この官民役割分担について考える際、行政サービスのあり方をどうとらえるのかで、行政改革のあり方が変わるのではないかと考えます。施策を作る際に、行政の役割をどうとるのか。市民サービスについて採算性・利潤追求を重視するか、採算性を度外視し、住民の要望を重視するかで、行政改革の方向性は大きく変わると思います。

それはつまり行政のあり方をどう変えていくのか、このNo.15にかかっていると思います。

官民の役割分担の明確化についてどこに力を入れるのか、しっかりやっていただいで進めていただきたいと思います。

NO.19 のホームページの充実等についてですが、透明性の向上に向け、情報公開制度も入れてほしいと思いました。

(末松委員)

第4次推進計画書 No.39 の地域の共同利用施設等での子どもの育成です。地域3あい事業ですが、うちの市民活動センターの代表理事も言っておりましたが、地域によっては活動センターが3あい事業のお手伝いをしているところもありますが、今後さらに広げていってもいいと言っておりましたので、(市民活動センターを利用することを)一度検討してみてください。

市内全125区のうち、実施はまだ53区とあります。今後拡大していくということですが、何らかの事情で実施できない理由もあると思いますが、その様な事情があるなかで、市民活動ネットワークの会員がお手伝いできることもあると思いますので、積極的に利用してください。

(教育委員会社会教育担当次長)

地域3あい事業について、市民活動センターを活用してもよいというご提案をいただきありがとうございます。毎年、担当課のほうで各区へ出向いて3あい事業の説明を行っております。市民活動センターのご協力もいただけるということを、今後開設地区を増やしていく際にPRしていきたいと思っております。ありがとうございました。

(森委員)

私は、小牧市が好きです。私は小牧町に生まれ育ち、そういう人間からすると、第4次小牧市行政改革推進計画そのものについては非常に不満です。これは、昨年1年かけて討議してきたものですが、そのとき3つの観点で、今達成できるもの、これから先達成できるもの、遠くに(どれほどかかるかわからないが)達成できるもの、で決めたと思うんですよ。それで各課で検討され、持ち寄ったものがこれだと思います。個々について有益なものもあるでしょうが、市民代表として昨年がんばってきた者としては、100点満点として55点しかつけられません。

その最大の原因は、(この計画は)市の職員がやりたいことが第一で、やりたくないことや市民が必要としているが行政がやりたくないことは計画にないです。

例えば、No.20 の評価について、外部評価が重要であると去年ずっと声

を大にして言ってきました。外部の人の声を聞かないと発展はないですよと言ってきました。

昨年、第4次の行革大綱の目玉は何ですか、副題は何にするんですかと言ってきましたが、結局いつのまにか取り去られてしまい、都合のいい計画ばかりになってしまいました。

この外部評価にしても2年もかかって研究して、実施予定は21年です。こういうことで、本当に小牧市の健全な財政は市民のためとなりますか。

私は市民モニターもやらせていただいております、先日、心強かった点として、市長に防災体制について意見を伺った時に、市民の生命と財産を守る、と熱意をもって答弁していただいております、非常に嬉しく思いました。

先ほどの女性職員の登用についても、偏見があるのではないですか。愛知県でも、20年前には女性の部長がいらっしゃいました。

先日は市長が実現性のある夢をいろいろと語っていただきました。ラピオに子育て支援や新しい図書館をつくるといった夢を語っていただきましたが、そういう夢を市民にもっともっと語りかけて欲しいと思うのです。

この推進計画は55点ですが、ずいぶん人も異動で変わっていて、(私の去年の発言に関して)そんなことは知らんと思われるかもしれませんが、是非、市民のためになることをやっていただきたいと思います。

(会長)

他にご意見はないでしょうか。

皆さん大変貴重な意見をいただきありがとうございました。

それでは次第3.その他に移ります。事務局から何かありますか。

(事務局)

たいへんありがとうございました。

本日各委員からいただきましたご意見につきましては、事務局でとりまとめて、会議録を各委員あてにご報告させていただき、その後市のホームページにも掲載させていただきます。

今後も、行政改革の進捗についてご助言をいただきたいと思いますと思っております。

(会長)

以上をもちまして、小牧市行政改革推進委員会を終了します。長時間にわたりありがとうございました。